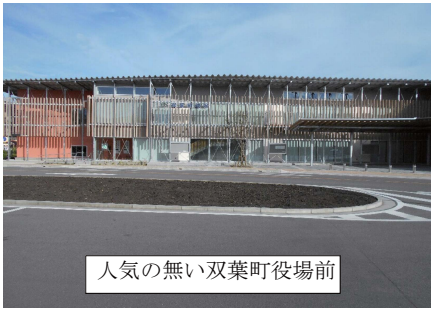


9年ぶりに福島へ行ってきました(その2) 新しい施設ができて人も人は戻らず

春日井民商だより

春日井市ことぶき町一八三

TEL 八二一四八二二
FAX 八一九七五六



人気の無い双葉町役場前

る場所(そこから先は立ち入り禁止区域)に行きました。原発の手前は「中間貯蔵施設」と言われる場所になっており、各所から集められたフレコンパック(除染した土などを詰め込んだ巨大ゴミ袋)が野積みされています。それから、業務を再開した双葉町役場を見学、駅前にもかかわらず人通りはほとんどありません。実は当日午前には岸田首相が来ていたようですが、そんな名残はみじんもありません



原っぱにぼつんと建つ「災害伝承館」

午後からは町の業務で。その後で震災と伝えられる双葉町の遺構になってい「東日本大震災・原子力災害伝承館(写真上)」を見学、前回訪へ移動、展示を見学し「語り部」の方の話も聞きました。そこから原発に一番近いとされ

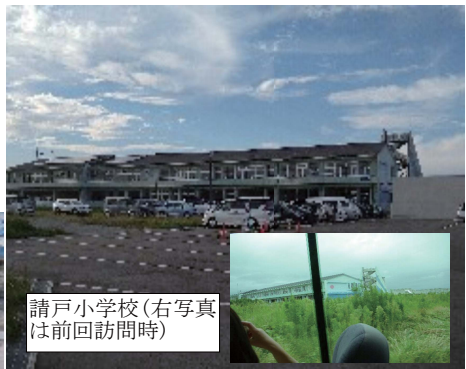


原発建屋を望む、手前はフレコンパック

開した双葉町役場を見学、駅前にもかかわらず人通りはほとんどありません。実は当日午前には岸田首相が来ていたようですが、そんな名残はみじんもありません

すべき新聞も放置されたままの新聞店もなくなっていました。浪江町の役場では「東北五大焼きそばサミット」が開かれ、近くには立派な道の駅もできていました。

2日目は、前回は復旧前だった常磐線に乗車、浪江駅まで移動。駅前には前回訪問時はバスや乗用車も震災時のまま放置してありましたが、それらはきれいに撤去され、配達



請戸小学校(右写真は前回訪問時)



浪江駅前の新開店は別の建物に建て替え(右写真は前回訪問時)

前回訪問時は、津波で流された家の土台がそのままだったり、橋梁や船・車などがそのまま放置されていて津波の生々しい傷跡を実感しましたが、今回は「伝承館」などの新しい建物はできていても、人が戻らず(戻れず)「復興」にはまだほど遠い状況であると感じました。
放射線量は前回訪問時のように線量計が振り切れるようなところはありませんでした(高線量地域には立ち入れなかったため)、双葉町内は主要道路である国道6号線の側道に入ることができない状態でした(写真左)。また山間部では、平地の約20〜30倍の線量を示すところも少なくありませんでした。
残念ながら福島はマスコミ等ではほとんど伝えられません。関心を持ち続け、多くの人に少しでも実情を伝えることが必要だと改めて感じました。



今年も班長研修会を開催します
10月15日(土) 午後2時~16日(日) 正午まで
ニューハートピア温泉ホテル長島
参加費 1,000円 (支部からの補助あり)
参加希望の方は、各支部の役員または事務所までご連絡ください。

3年ぶりの春日井まつり(10月15・16日)
ラーメン横町に出店します
今年は「旨辛台湾味噌ラーメン」で勝負します
食券は当日会場での販売のみで 700円です。みんな来てね!
拉麺昭吉(西支部)